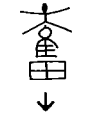
奮

六年

画数 16
筆順 ⺍ 大 奇 奔 奮 奮
オン フン
クン ふる＝う

成り立ち



〝大〟という字と、鳥の形を表した〝隹〟と、〝田〟という字とを組み合わせて作った字です。

「大きな鳥が、田んぼから〝飛びたつ〟」ことを表した字です。

「飛びたつ」という意味の字です。

また、鳥が飛びたつ時のありさまは、勢いがとてもはげしいものですから、「勢いがよい」「勢いをふるう」意味に使われます。

鳥が飛びたつ時には、ありったけの力を出しますので「ありったけの力を出してがんばる」という意味にも使います。

使い方

▽運動会で騎馬戦に出場しました。相手の帽子を取れば勝ちです。なんとか勝ってやろうと奮戦しましたが、ちょっと油断したすきに帽子を取られて負けてしまいました。

▽わたしはラグビーの試合を見に連れて行ってもらいました。ラグビーの試合を見るのは初めてです。選手たちの激しい動きや、巧みな球さばきに興奮して、大声で応援しました。

熟語例

▽奮戦（力いっぱい戦うこと。）

▽興奮（感情が高ぶること。）

▽発奮（大いに何かをしようと、気持ちをふるい起こすこと。「試験で百点をとろうと発奮して勉強した」などというふうに、つかいます。）

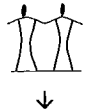
▽奮発（心をふるい立たせること。また、思い切って大金をはずんだり、高い物を買ったりする時にもつかいます。「おばあちゃんがお年玉を奮発してくれたので、前から欲しかったおもちゃを買いました」などというふうです。）

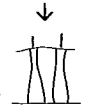
並

六年

画数 8
筆順 ⺍ 亠 立 立 並 並 並
オン ヘイ
クン なみ・なら＝ぶ＝べる＝びに

成り立ち





「人が立っている形」を表した〝立（1年78）〟という字を二つ〝並べ〟た字です。

人が二人〝並んで〟立っていることを表した字です。

「ならぶ」「ならべる」という意味の字です。例並立、並列、並行、並肩、並称、並木。

「普通（なみ）」という意味にも使われます。例人並、月並、並製、並々。

また、「軒並」、「足並」などという使い方もあります。

使い方

▽高校野球の入場式を見ました。きちんと並んで、足並そろえて入場行進する様は、ほんとうに見事です。

▽両校の対抗試合は、午前十時から、野球とラグビーとが並行して開始されました。

熟語例

▽並行（「並んで行く」という意味と、「並んで行われる」という意味とあります。使い方の例文は後者で、「同時に行われる」という意味）

▽並列（列も〝ならぶ〟こと。また、「電池の並列連結」の意味に使われます。）

▽並立（二つ以上のものが並んで立つこと。「二つ以上のものが同時に存在している」という意味にも使います。）

▽人並（ふつうの人と同じ程度という意味。例人並にできたらけっこうです。）

▽月並（「月が並ぶ」意味で、〝毎月〟。それで、毎月行う俳句会を〝月並〟と略称しました。ついで、「新鮮味のない俳句」のことも〝月並〟と言い、今では何事によらず、〝ふつう〟の意味に使われています。）